

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | | | |
|-----------|--------------------------|--------|----------------|-----------|--------------|
| 団体名 | 黒石市 | | | 代表者名 | 高樋 憲 |
| 担当者部署(属性) | 情シス担当 | 担当者部署名 | 企画財政部広報情報システム課 | 連絡先電話番号 | 0172-52-2111 |
| 担当者役職 | 主事 | 担当者氏名 | 三浦 航太 | 連絡先E-mail | |
| 住所 | 036-0396 青森県黒石市大字市ノ町11-1 | | | | |

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

| | | | |
|-------|--|---------|-----------|
| 団体名 | | 連絡先部署 | |
| 担当者氏名 | | 連絡先電話番号 | 連絡先E-mail |

1-3. 支援を求める内容

| | | | |
|----------|---|-----|------------|
| 支援方法 | 具体的課題への支援 | 事業名 | 「DX推進員」の配置 |
| 概要 | DX推進の担い手を育成するにあたり、DX推進の考え方や方向性について助言をいただきながら、意見交換の場を設けたい。 | | |
| 支援を求める分野 | 人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） | | |

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| | | | | | |
|----------------|---------------|-------------------------|---------|--------------|----------|
| 2-1. 対応日・時間 | 期日・支援内容の変更あり | 受付番号 | 変更後の派遣日 | 変更後に実施した支援内容 | 実地/オンライン |
| | 無 | | | | |
| | 派遣日予定日（申請書より） | 支援内容（申請書より） | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間（分） |
| | 令和7年10月6日 | 支援・助言(実地) | 10時00分 | 15時00分 | 60 |
| | | | | 活動時間（分） | 240 |
| 2-2. 派遣場所 | 会場名 | 黒石市役所わのまちセンター1階 イベントホール | | 最寄駅 | 黒石駅 |
| | 所在地 | 青森県黒石市大字市ノ町2-1 | | 最寄駅からの交通手段 | タクシー |

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|-----------------------------|--|
| アドバイザー | 大木 一浩 |
| 評価 | 大変良い |
| 上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に） | 始めにDXの基礎・必要性、DX推進の意義について学び、職員や住民サービスにどのような影響をもたらすかを理解したうえで、DX推進に必要な心構えや障壁への対策、DX推進の進め方を学ぶという、順を追った講演内容となっていたため、理解しやすかった。 |
| アドバイザーへの要望事項 | 特になし。 |

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | | |
|----------------|-------------------------|-------|-----|
| 4-1. 支援を受けた対象者 | 属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 | 合計人数 | 30人 |
| | 属性 | 自治体職員 | 住民 |
| | 人数 | 29 | 0 |
| | | 0 | 1 |

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

| | |
|------------------------|--|
| 事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい） | ・主事級から係長級までの職員で構成される「DX推進員」を選出したものの、職員のDXに関する知識や理解が不足しており、意識の醸成が必要。 ・DX推進員から、各課業務における課題を見つけてもらい、それをもとにBPRを行いたい、集めたデータをどこに集約するか等、BPRに至るまでの準備が整っていない。また、どのように進めていくのが効率的かがわからない。 |
| 支援により目指す成果（具体的にご記入下さい） | ・DX推進員に、DXに対する知識や理解を深めてもらい、各課業務における課題の洗い出しができる環境を整える。 ・洗い出した課題を集約する手段等、BPRに至るまでの環境整備と、今後のBPRの進め方について方向性を定める。 |

| | | |
|---|--|-------------------------|
| アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい) | ・DXの基礎・必要性、DX推進の意義について学び、職員や住民サービスにどのような影響をもたらすかを理解したうえで、DX推進に必要な心構えや障壁への対策、DX推進の進め方について教えていただいた。 ・BPRに至るまでの環境整備のやり方、BPRを行うにあたって各課業務における課題の洗い出し方法について、助言をいただいた。 | |
| 支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい) | ・DXに関する知識や意義に触れたことで、DX推進員のDXに対する意識改革につながったのではないかと考える。 ・BPRを進めるためにやるべきことと今後の方向性について、焦点を絞ることができた。 | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 | ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない |
| | | |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) | 幹部職員（部課長級）に対して、今回と同様または幹部職員向けに特化した研修会を行うことが持ち越しとなった。 | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（E X C E L や P D F での分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 | |
| | アンケートの必要性がないため、実施していない。 | |
| 4－3. 今後の計画 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい | ③現段階では課題・問題が残っているため未定 |
| | | |
| 4－4. 事業の最終的な目指す姿 | 様々なデジタル技術を活用して業務効率化・業務改善（改革）を行えるような職員の育成を目指す。また、業務効率化・業務改善により、効率的で持続可能な行政サービスを市民に提供し、市民満足度を向上させるとともに住民の幸福につなげる。 | |

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

| | |
|------|---------------------------|
| 掲載許可 | <input type="radio"/> 掲載可 |
|------|---------------------------|

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他＞を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

